



大空に咲く大輪の華 伝統の技を継承し 人々に夢と希望を届ける

中学2年生から現場に出て、花火の筒を運ぶのを手伝ってきた岸さん。その時、自分が準備した花火を見て、多くの人が喜んでる姿に、大人になると迷わず花火師への道を選んだ。

時代とともに、人々の価値観の変化や、コロナ禍、景気低迷など花火を取り巻く環境が変わりつつある。そんな中、岸火工製造所の花火を未来へつなげていくため何ができるか考えた岸さんは、クオリティの高い花火を有料で打ち上げる花火大会に参加しはじめた。岸さんの真骨頂であるミュージック花火。2023年1月14日に開催された『さぬき花火浪漫』では、藍色やレモン色、いくつもの花火を音楽に合わせて、時に繊細に、時にダイナミックに打ち上げ、観客を魅惑するショーを作り上げた。

このような大きな大会だけでなく、地元レストランとコラボして、プロポーズなど特別な日に花火を打ち上げるイベントや、花火を身近に感じてもらう花火の製造現場見学、花火作りワークショップなども積極的に行っている。「地元の人に協力を得ながら、新たなことに挑戦するのが弊社のビジョン」という岸さん。代々受け継がれてきた花火作りの技を継承しながら、このような新たな取り組みも融合した岸さんの挑戦はまだ続く。

Profile

有限会社岸火工品製造所

明治20年から約130年に渡り、新野町で花火を作り続けてきた長い歴史を持つ。社長の岸洋介さんは7代目。打ち上げ花火の点火自動点火システム『FireOne』にいち早く着目し、1/100秒単位で緻密にプロミングされた音楽花火に注力している。地元阿南市の成人式や高校生とのコラボ花火の打ち上げなど地域との関わりをとっても大切にしている。

